

令和5年9月27日（水）  
認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議

# 「共生社会の実現を推進するための認知症 基本法」施行にむけた期待と提案

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ（JDWVG）  
代表理事 藤田 和子

# 今、全国で認知症の本人による発信・活躍が広がっています

どの地域や、どの場で暮らしていても、自分らしく暮らし続けられるように



# 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」 施行にむけた期待と提案①

1. 基本法が国民に知られ、認知症とともに前向きに生きていく希望や勇気を持てる人が、一人でも多く増えることを期待

## 【提案】

基本法成立の経緯も含めた基本法「わかりやすい版」を本人参画で創り、本人を含む全ての国民に、基本法の浸透を図ろう

# 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」 施行にむけた期待と提案②

## 2. 基本的人権を持つ個人として、自分自身を保ち、 自分らしく暮らし続けられる本人が、一人でも多く 増えることを期待

### 【提案】

- 本人を含めた国民が、古い常識（認知症観）の殻を破り、基本的人権に根差した希望のある新しい常識（認知症観）をあたりまえのこととしてリアルに学び、認知症に備えられるよう本人との対話や交流の機会をつくろう。
- 認知症になったできるだけ早い時期に、前向きに暮らす本人と出会い、つながり、社会参加を続けながら、前向きに暮らし続ける流れをつくろう

\* 啓発、ピアサポート、本人ミーティング、社会参加等の取り組みが、本人視点にたって自然につながる流れを

# 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」 施行にむけた期待と提案③

3. 本人が本音を表せ、意思表示や自己決定しながら自分らしく暮らし続けられるように、その歩みに継続的にかかわり後押ししてくれる人材がどの地域でも着実に増えることを期待

## 【提案】

行政も専門職も職場や地域の人も、認知症の症状だけを見ずに、目の前の本人の声をしっかりと聴きながら、よりよい暮らしと地域を一緒につくっていく創意工夫を積み上げ、本人とともに歩む人をそれぞれの地域の中で増やしていこう

# 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」 施行にむけた期待と提案④

4. 認知症があってもなくても、「今暮らしている自治体で、希望をもって自分らしく暮らし続けていける」と思える人たちが、年々着実に増えることを期待

## 【提案】

自治体が縦割りを超えて、多様な領域の人とその地域の文化やあるものを活かしながら、自分らしく暮らし続けていくための、わがまちならではの中長期の計画を本人参画でつくっていこう

それにより、本人と住民等が地域共生を実感できるようになったかを、毎年、確認（評価）していこう

# いつでも、どこでも自分らしく暮らし続けられる 地域共生を、私たち本人と一緒に創ろう

各自治体で着実に普及を図り、希望宣言を伝える「希望のリレー」の展開を

## 認知症とともに生きる希望宣言

日本認知症本人ワーキング  
グループ (JDWG) が2018  
年11月に発表

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジもしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 身近な地域で、味方になってくれる人を見つけ、一緒に歩いていきます。
- 5 自分の思いや希望を伝え続け、暮らしやすいまちを一緒につくっていきます。

# 日本認知症本人ワーキンググループについて

日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）は、「認知症になってからも希望と尊厳を持って暮らすことのできる社会」を創り出すことを目的に活動を展開しています。（<http://www.jdwg.org/>）



私たち認知症のある本人と、本人の活動目的に賛同されたパートナーの皆さんが、認知症の本人の「本人だからこそその経験・体験からの声」を発信して、ともにによりよく暮らすことのできる社会を創り出すことにチャレンジしています。